

【バイオリンクって何？】

チクゴ株クロレラの一番新鮮で最高品質のものです。

原材料は淡水で生きている藻です。

バイオリンク一粒=20億個のクロレラです。

つなぎは何も入ってなくて、外側のネバネバ同士でくっついています！



先月のバイオリンク愛用者会にご参加いただいた方々から嬉しいお声が届いています。
お二人ともいつもはなかなか眠れないのに、

ぐっすり眠れて良かった
朝まで1度も起きなかった

8時まで寝てしまった

7時まで寝てしまったというお声をいただきました。



愛用者会ではクロレラの源液ドリンクを飲んで頂きました。
これがよかったのだと思います。



お礼状を持って昨日のお話会はどうだったかと、気になり訪問したら、
皆様、良いお話を聞いて良かったと喜ばれました。

お話が分かりやすかったですかって尋ねたら、よくわかったと言ってもらえて安心しました。

～現代病はなぜ起こるのか!?～

昔の昭和30年代頃の食事バランスは良い状態でした。

今は昔に比べて、乳製品や肉の摂取量がかなり増えています。

しかし、それにも増して急激に増えているものがあります。

皆さん一体何だと思いませんか？



ちょっと考えてみてください。女性が特に好むものです。

そうですね。甘いものですね

砂糖です!!昔は200グラムの砂糖を1年間でとっていました。

しかし、今は200グラムの砂糖をどのぐらいでとっている
と思いますか?1ヵ月でしょうか?

1週間でしょうか?2~3日でしょうか?

そうです。2~3日で200グラムの砂糖をとっています。
そんなに砂糖ばかり取ってないよと思われるかもしれ
ません。

しかし、知らず知らずのうちにとっているのです!

例えば、ポカリ1本に10個のステックシュガーが入っ
ています。缶コーヒーにも6個入っています。



【交通事故で亡くなった小学生のある大学病院でのモデルです】

小学生でも動脈硬化が進んで、血管が詰まっている状態があるってご存知でしょうか?

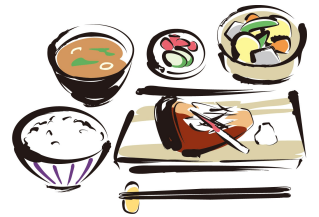
えっ、小学生が?と思いませんか?しかし、52名中47名もあったそうです。

血管の詰まりによる動脈硬化で、脳梗塞や心筋梗塞のリスクが高くなるため、コレステロールを下げるお薬が大流行りですね！

しかし、適度なコレステロールは細胞膜の材料にもなります。低すぎるのも問題があります。血管もコレステロールがないと切れやすくなります。

私たちの体は、毎日、新陳代謝を繰り返して細胞が生まれ変わっています。骨など、生まれ変わりが遅いものもありますが、約 200 日で入れ替わっています。

入れ替わる時に、間違っただコピーされないように、ガンなどにも、ならない為にも正常に新陳代謝が繰り返されることが大切です。健康でいるためには毎日の食事が大切です。和食が 1 番です。そして、食事バランスを整えることが大事です。



でも、なかなかバランスの良い食事をする事は難しいですね。1日30品目なんて、とても食べられませんよね！

そして食事の中で**農薬や添加物**も知らず知らずのうちにとってしまいます。砂糖や油も同じです。**(日本の規制が一番ゆるいって知ってますか?)**

そんなに食べてないつもりでも、知らず知らず見えないうちに体の中に蓄積されてしまっています。なので、緑の野菜をしっかりと食べてもらいたいです。**(解毒しましょう)**

食事で採るのが難しい時は**バイオリンク**をしっかりと食べてください。緑の野菜の不足分をおかずの1品として、バイオリンクで補ってあげてください。汚れを便にくっつけて排泄してくれます。緑の葉緑素を食べると緑の便が出ます。青虫さんも緑の葉っぱを食べて緑のウンチを出しますよね！これと同じでバイオリンクを食べると緑の便が出ますよ！



黒砂糖はミネラルがあるので、火をつけると燃えます！

(愛用者会の時の実験です→)

しかし、白砂糖に火をつけると、ミネラルがないので燃えません。焦げて溶けていくだけです。そこで、白砂糖にバイオリンクをつぶしてふりかけて、火をつけて燃やすと火が出て、ポーポーと燃えます。

砂糖の入った甘いものなどを食べたときには、ドロドロの血液になってしまいますのでしっかりとバイオリンクを食べてミネラルを補給して燃やしてください。



そして血液を汚さないようにしてください。

糖が気になる方、血管のつまりやドロドロ血液が気になる方、血管の柔らかさ、しなやかさがなく切れやすい方はぜひバイオリンクを食べてください！

油物や砂糖が多いなと思ったときには、しっかりと緑の野菜を摂ったり、バイオリンクを食べたりしてください。それが現代病を防ぐ予防対策になります。必要量は、個人差があります。また、お尋ねくださいね！次回は油についてお話しますね！

